

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

# 竜胆瀉肝湯エキス錠クラシエ

(リュウタンシャカントウ)

## 特徴

- 「竜胆瀉肝湯」は、漢方の古典といわれる中国の医書「薛氏十六種」<sup>ヘキシジュウロクショ</sup>に収載されている薬方です。
- 体力中等度以上で、下腹部に熱感や痛みがある方の排尿痛や残尿感、尿の濁り、頻尿などの排尿異常に効果があります。

## ⚠ 使用上の注意



### 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- 医師の治療を受けている人
- 妊婦又は妊娠していると思われる人
- 胃腸が弱く下痢しやすい人
- 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人

#### 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。  
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
* 間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

#### 3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください 下痢

#### 4. 1ヶ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 効能

体力中等度以上で、下腹部に熱感や痛みがあるものの次の諸症：  
排尿痛、残尿感、尿のにごり、こしけ（おりもの）、頻尿



## 用法・用量

次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人（15才以上）	4錠	3回
15才未満7才以上	3錠	
7才未満5才以上	2錠	
5才未満	服用しないこと	

## 〈用法・用量に関する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。  
(裏面につづきます)

## 成 分

成人1日の服用量12錠（1錠351mg）中、次の成分を含んでいます。  
竜胆瀉肝湯エキス粉末 ..... 2,750mg  
〔リュウタン・サンシシ・カンゾウ各0.75g、モクツウ・ジオウ・ト〕  
ウキ各2.5g、オウゴン・タクシャ・シャゼンシ各1.5gより抽出。〕  
添加物として、タルク、ステアリン酸Mg、二酸化ケイ素、クロス  
CMC-Na、水酸化Al/Mg、セルロース、ポリオキシエチレンポリオ  
キシプロピレングリコール、ヒプロメロースを含有する。

### 〈成分に関連する注意〉

本剤は天然物（生薬）のエキスを用いていますので、錠剤の色が多少異なることがあります。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。  
(ビン包装の場合は、密栓して保管してください。なお、ビンの中の詰物は、輸送中に錠剤が破損するのを防ぐためのものです。  
開栓後は不要となりますので捨ててください。)
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)使用期限のすぎた商品は服用しないでください。
- (5)水分が錠剤につきますと、変色または色むらを生じることがありますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手で触れないでください。
- (6)4錠分包の場合、1包を分割した残りを服用する時は、袋の口を折り返して保管してください。なお、2日をすぎた場合には服用しないでください。



### 健康アドバイス

#### ●冷やさないように



腹部を冷やさないように  
しましょう。冷えは局所の血行を妨げて、膀胱炎の誘因となります。腹部はできるだけ温めよう  
にしましょう。

#### ●排尿を我慢しない



排尿を無理に我慢しない  
ように心がけましょう。  
尿意を過度に我慢すると、  
菌に対する抵抗力がおち  
て、膀胱炎にかかりやす  
くなるといわれています。

#### ●疲れを残さない ように



疲れがたまつたりして体力  
が低下すると、細菌に感染  
しやすくなります。そのた  
めに膀胱炎を起こしやすく  
なることがあります。過労  
を避け、疲れを残さないよ  
うにしましょう。

### 副作用被害救済制度の問合せ先

(独)医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

☎ 0120-149-931

本剤について、何かお気づきの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

**クラシ工 薬品株式会社** お客様相談窓口 ☎ (03) 5446-3334

受付時間 10:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

ホームページ [www.kracie.co.jp](http://www.kracie.co.jp)

発 売 元

**クラシ工 薬品株式会社**

東京都港区海岸3-20-20 (〒108-8080)

製造販売元

**クラシ工 製薬株式会社**

東京都港区海岸3-20-20 (〒108-8080)